

自衛隊ラッピング路面電車完成運行開始

～自衛隊号にのってみた☆～

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 松田 桃子・陸佐）は10月23日（木）、自衛隊ラッピングLRT・ライトライン（次世代型路面電車）の運行開始に伴い、始発の宇都宮駅から峰駅の間、自衛隊ラッピング車両の『自衛隊号』に乗り、自衛隊号のPRを行った。

LRTとは「Light Rail Transit（ライト・レール・トランジット）」の略で、従来の路面電車を近代化した次世代型の公共交通システムで、低床式の車両（LRV）や走行空間の整備、停留所のバリアフリー化などを特徴とし、快適性、速達性、定時制が高いことに加え、排気ガスを出さないなど環境にも配慮されている地域に愛されている注目の路面電車である。

ラッピングは、先頭・中央・後部の車両を陸海空のイメージカラーで分け『自衛隊の職種や職域等の多様性』、『自衛官としてのやりがい』をイメージできるメッセージを写真とともに配置している。

宇都宮駅には、通勤通学の学生や地域住民がホームに多数おり、自衛隊の制服や迷彩服で乗車待ちをしている自衛官に「今日は何かあるのですか？」と興味をもって話しかけてくれた。『自衛隊号』がホームへ入ってくると、自衛官の姿と『自衛隊号』を交互に比べ、納得したように話をする学生たちの姿も見られた。自衛隊ラッピング車両は令和7年10月23日から令和8年6月22日の8ヶ月間の運行予定となっている。

栃木地本は「いよいよLRTの運用が始まり、LRTの注目の高さや地域に愛されている人気の車体に、高い広報効果が見込まれることを期待している。『自衛隊号』の宣伝効果を最大限活かして地域の皆様に自衛隊を身近に感じていただけるよう活動していくとともに自衛隊への理解の促進及び募集広報に邁進していく」としている。



宇都宮駅へ向かう『自衛隊号』
（自衛隊ラッピングLRT）



宇都宮駅ホームでの様子



「自衛隊号」出発進行～！